

秋川障子岩 襖岩と三池ロックの新ルートなど

障子岩は 個性的なラインが多いにもかかわらず、前傾壁の長いラインが少なく、取り付きは傾斜地で、全体的に雰囲気は薄暗いイメージであるためか、訪れるクライマーは非常に少なく、東京近郊では超マイナーな岩場である。

近年、整備が行き届かず、昔打たれたボルトの腐食も激しかったため、何年か前から岩場全体のクリーニングやリボルトなどの整備などを行ってきたが、その際、何本かの新ラインや派生ラインができたのでここでまとめて紹介したい。リボルトについては、位置や数が変わっているものについてはご容赦願いたい。

なお、派生ラインとしては、下記のトポでの紹介はないが、南東面の「指切りケンちゃん」の下部直上、同「熱中症」の上部直上、三池ロックの「OB」の下部直上などがあるが、「熱中症」がすっきりしたラインになったほかは、隣のラインがトライ中に使用する程度のもので特筆するものはない。

注意事項としては、岩場へのアプローチ入口のスペースには駐車しないこと、三池ロック側の沢の水は汚さないこと、トイレは無いので事前に済ませてから入ること、どうしてもという場合は沢筋を避けて必ず埋めること等マナーを厳守し、くれぐれも事故の無いようにお願いします。

ところで、最近時々障子岩のクライミング記事を見かけますが、南東面の「虹の戦士」について、グレードより易しいという意見が多い様です。初登時のムーヴは浅い溝を右手で、左手は穴状のホールドをピンチで左足を良いホールドに乗り込んで上のホールドを取りに行こうとしたが届かず、結局、右のカンテのスローパーを右手で持ち、身体を上げて左のガバっぽいホールドへ左手でデッドしたのですが、自分のムーヴで1度しか登っていないので何とも言えません。もし良いムーヴがあるならグレードを是正しても構いませんので、客観的に評価してもらえるとありがたい。

●襖岩右壁

- 1.年末大売出し(5.11b) 新ルート。1の右から入り、2本目は「花曇り」と共用。さらに左にトラヴァースし、3の3本目に合流してフェイスを直上し3の終了点へ。核心は2本目だが、最後3に合流してからもきつい。3の終了点を新たに設置した。、2.花曇り(5.10c) 、3.穴 Part2(5.11b)
- 4.サイクリスト(5.10d) 、5.襖の下張り(5.10b)
- 6.(5.9) TR、小さなフェイスの左側。ガバ。出だしは一番左下から。7.(5.10) TR、右のフェイス。



●モミジ・スラブ

三池ロックのメインフェイスから左の沢を一段上がった所にあるスラブ状フェイス。フィックスあり。

1. グリーン・ツーリズム(5.9 F5) モミジの木まで直上するライン。4本目上は左から登ると易くなる。
2. 平成方丈記(5.11a F6b+) 中間のレッジ(1の4本目)からフレーク状クラックを右へ。途切れたところから上のガバに出ずに 終了点下のガバまでフェイスを右にトラヴァースする。
3. ラプサン・スーチョン(5.11c F6c+)1の2本目から分かれ、2の下を右上していく。2のホールド(手)は使わず最後ハング下までトラヴァースし、ハングを越えて終了点へ。最後ハング下まで少しランナウトするのでフォール時注意。スラブのトラヴァースはムーヴが解らないと難しく感じる。

